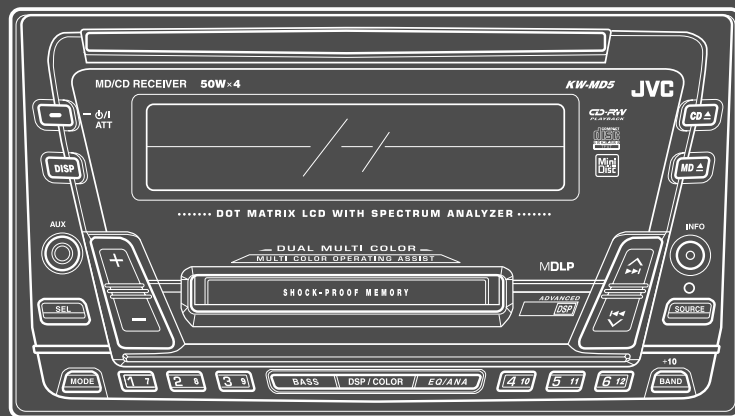


取扱説明書

JVC

KW-MD5

MD/CDレシーバー



MDLP



— お買い上げありがとうございます —

! ご使用前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0723-001A

目次

● 主な特長	2
● 安全上のご注意	3～7
● 正しくお使いいただくために	8～9
● 各部の名前と働き	10～15
● リモコン(RM-RK36:別売り)の使いかた	16～17
● 基本操作	18～19
● 時計の合わせかた	20
● 時計表示／ビープ音について	21
● 音量・音質の調節	22～23
● DSPの使いかた	24～25
● EQの使いかた	26～29
● MULTI-LINK機能について	30
● MODEボタンの使いかた	31
● MDを聞く	32～35
● CDを聞く	36～38
● ラジオを聞く	39～42
● CDチェンジャーのCDを聞く	43～45
● 他の機器の音を聞く	46～47
● 放送局名を表示させる	48
● 文字入力のしかた	49
● 文字配列表	50
● MD/CDタイトルのスクロール表示のモードを変える	51
● マルチカラー表示について	52～54
● スペアナ表示を変える	55
● 表示窓のモードを変える	56

● 表示窓の明るさ／コントラストを変える	57
● テレホンミュージングについて	58～59
● MD/CDの盗難防止	59
● 放送局名一覧	60～64
● 保証書とアフターサービス	65
● 故障かな?と思う前に	66～67
● 主な仕様	68～69
● お手入れ	70
● 用語索引	71

主な特長

- MD長時間ステレオ再生対応(MD LP)
- CD-R/CD-RW対応・高音質24bit DAC内蔵ダック
- ポータブル機器が接続できるAUX-IN端子
- 色が変わるデュアルマルチカラーディスプレイ
- 50W×4chハイパワーアンプ搭載
- 音楽の臨場感を高めるDSP&イコライザー搭載
- LP4モード再生時に約160秒のMD音飛びガードメリー(標準モード時約40秒)

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

警告

■本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

■配線作業中は、バッテリーの^{マイナス}端子のコードを外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

■本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

■車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故の原因となります。



警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

- 自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

⚠ 注意

■本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけが・故障の原因となることがあります。

■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避けてください。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

■本機を不安定なところに取り付けしないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。



・ 感電やけがの原因となることがあります。

- ディスク挿入口に異物を入れないでください。



・ 火災や感電・故障の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。



・ けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

正しくお使いいただくために

● 本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

● スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4～8Ωのものをお使いください。

● 次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が降ったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

● 安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

● 車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、MD/CDを聞くとときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲：0℃～+40℃)

● バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

● 結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してMD/CDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

● 海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

● ^{ピーチーエル}スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別紙の取付説明書の通りになしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナス}側が車の金属部に接続されていたり、^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因となります。

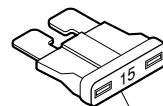
*BTL：^{バランスド}Balanced ^{トランスフォーマーレス}Transformerlessの略

2組でパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

● ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

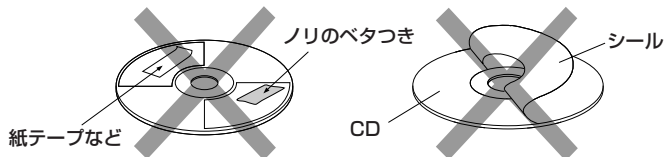
また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

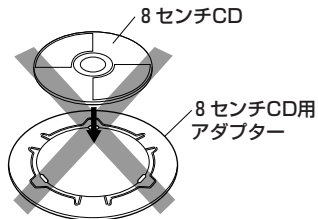
CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- CD/CD-R/CD-RWを保管するときは
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。
- CD-R/CD-RWの取扱いについて
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- 記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



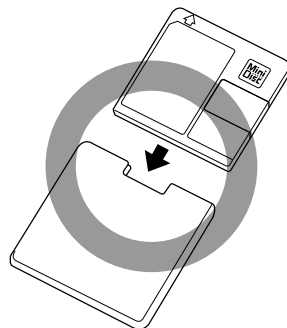
- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。
8センチCDは、そのまま挿入してください。



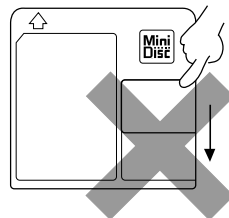
MDの取扱いについて

- MDを保管するときは



MDを本機から取り出して専用のケースに入れ、直射日光の当たる所やダッシュボードの上などは避けて保管してください。MDが変形すると、故障の原因となります。

- MDのシャッターについて

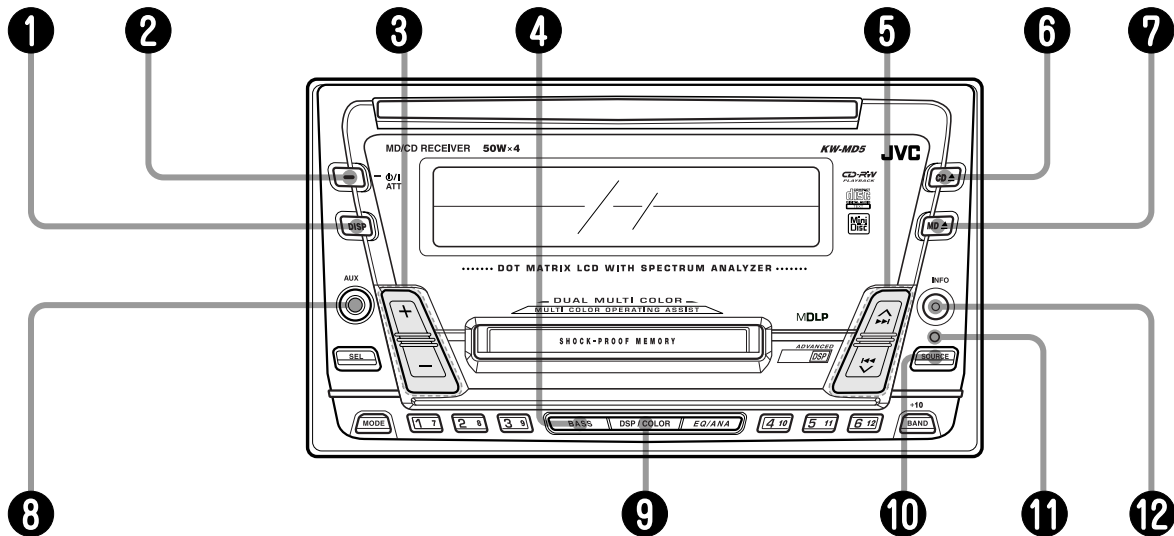


MDのシャッターは、開けられないようになっています。無理に開けると、MDが破損する原因となります。

- MDにラベルを張ってお使いになる場合

ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

各部の名前と働き



1 ディスプレイ DISPボタン

表示窓の表示を変えるとき使います。→ 35 43 48 ページ参照

2 電源(電源)ボタン

電源の「入」↔「切」や音量を一時的に下げることができます。
→ 18 19 ページ参照

3 +、- (音量)ボタン

電子ボリュームのレベルなどを調節することができます。
→ 18 20 22 ページ参照

4 バス BASSボタン

重低音を調節するとき使います。→ 23 ページ参照

5 ❷、❸ボタン

●「ラジオ」のとき：選局ボタン

選局ボタンになります。→ 39 ページ参照

●「MD」、「CD」と

「CD-CH」のとき：スキップ／サーチボタン

曲の頭出しや早送り、早戻しができます。

→ 35、38、44 ページ参照

6 CD▲(取出し)ボタン

CDを出し入れするとき使います。→ 36 ページ参照

7 MD▲(取出し)ボタン

MDを出し入れするとき使います。→ 32 ページ参照

8 エューエックス AUX端子(φ3.5ステレオミニ)

市販のカーAV機器などを接続します。→ 46 ページ参照

9 DSP／COLORボタン

DSPのモードにするとき使います。→ 24 ページ参照

もう一度押すと、表示窓のバックライトの色(以下これをマルチカラーと呼びます)を選ぶモードにすることができます。

→ 22 ページ参照

10 ソース SOURCEボタン

聞きたいソース(音源)を選ぶことができます。押すごとに

ラジオ → CD*1 → MD*1 → CD-CH*2



と選べます。→ 10 ページ参照

電源「切」のとき押すと、電源が入ります。

* 1 本機にCDおよびMDが入っているとき

* 2 CDチェンジャーが接続されているとき

11 リセットボタン

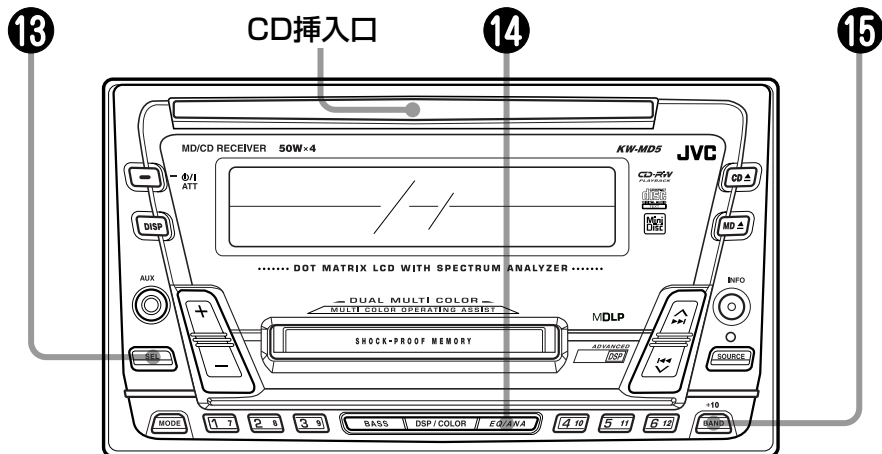
初めて電源を入れたときまたは、どのボタンを押してもうまく動作しなくなったとき、このボタンを押して内蔵のマイコンをリセットします。

12 インフォメーション INFOボタン

道路交通情報(AM1,620kHz)を聞くとき使います。

→ 42 ページ参照

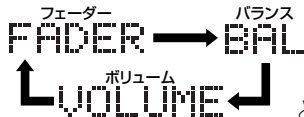
各部の名前と働き(つづき)



13 SELボタン

セレクト

音量調節のモードが選べます。押すごとに



と選べます。→ 22 ページ参照

また、MODEボタンで選んだ各モードを設定することもできます。→ 31 ページ参照

● SELボタンを2秒以上押すと

時計合わせなどの各種設定モードになります。→ 13 ページ参照
PSM表示のあと、お買い上げ時は「CLOCK HOUR」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき◀(または♥)ボタンを押すとPSMのモードが選べます。13 ページは、▶ボタンを押したときの表示順で♥ボタンを押すと逆に変わります。次からは選んだモードが優先的に表示されます。

↓	CLOCK HOUR	} : 時計合わせのモードにする →20ページ参照
↓	CLOCK MIN	
↓	CLOCK DISP	: 電源「切」時の時計表示切換 →21ページ参照
↓	MULTI-LINK	: MULTI-LINK機能の切換 →30ページ参照
↓	TEL MUTING	: テレホンミュートモードの切換 →59ページ参照
↓	BEEP	: ビープ音のON/OFF選択モード →21ページ参照
↓	DIMMER	: ディマーのモード設定 →57ページ参照
↓	Station Set	: 放送局名のメモリー選択モード →48ページ参照
↓	P.AMP SW	: パワーアンプのON/OFF選択モード →別冊の取付説明書参照
↓	CONTRAST	: 表示窓のコントラスト設定モード →57ページ参照
↓	SCROLL	: 名前のスクロール表示設定モード →51ページ参照
↓	EXT INPUT	: CD-CHのソースをカーAV機器のモードにする →47ページ参照
↓	AUX ADJ	: AUXの入力感度設定モード →47ページ参照
↓	DEMO	: デモモードのON/OFF設定モード →56ページ参照

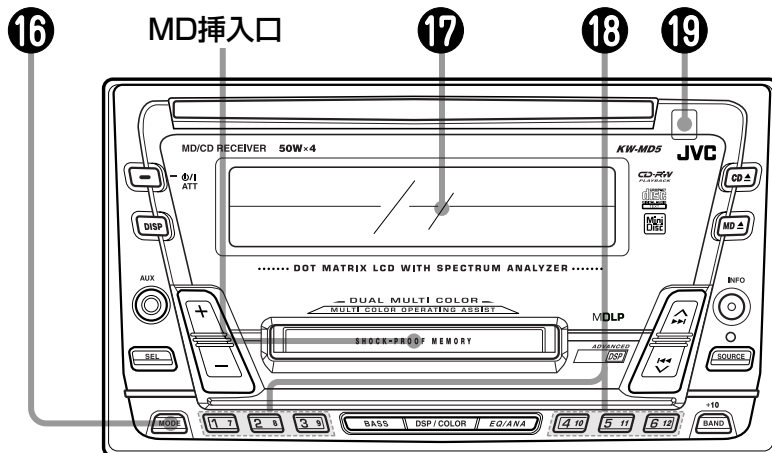
14 イコライザー スペアナ EQ/ANAボタン

EQのパターンを呼び出すとき使います。→26ページ参照
もう一度押しすと、スペアナモードになります。
→55ページ参照

15 バンド BANDボタン

FMとAMの間きたいバンドを選ぶとき使います。→39ページ参照
押しごとにFM1→FM2→AM1→AM2→FM1…と順に変わります。
また、ソース(音源)が「MD」または「CD」のときは、曲番号13以上の曲を選ぶときにも使います。→34 37ページ参照

各部の名前と働き(つづき)

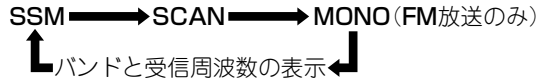


16 モード

MODEボタン

押すごとにモードが選べます。ただし、ソース(音源)によって使いかたが異なります。→31ページ参照

・「ラジオ」のとき

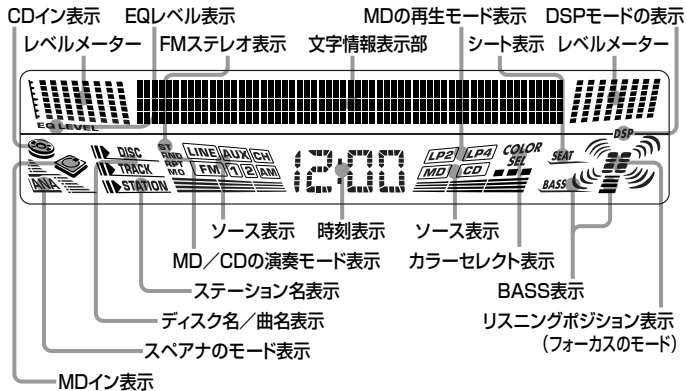


・「CD」、「MD」および「CD-CH」のとき



各モードを設定するときは、SELボタンを使います。

17 表示窓



18 17 6 18 ボタン

●「ラジオ」のとき：プリセットボタン

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM (FM1×6局、FM2×6局)、AM (AM1×6局、AM2×6局)の24局がメモリーできます。

→40ページ参照

●「MD」、「CD」のとき：曲番号ボタン

聞きたい曲を選ぶとき使います。→34 37ページ参照
また、曲番号13以上の曲を選ぶときはBANDボタンと併用します。

●「CD-CH」のとき：CDダイレクト選択ボタン

CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶとき使います。→44ページ参照

19 リモコン受光部

別売りのリモコン(RM-RK36)の信号をここで受信します。

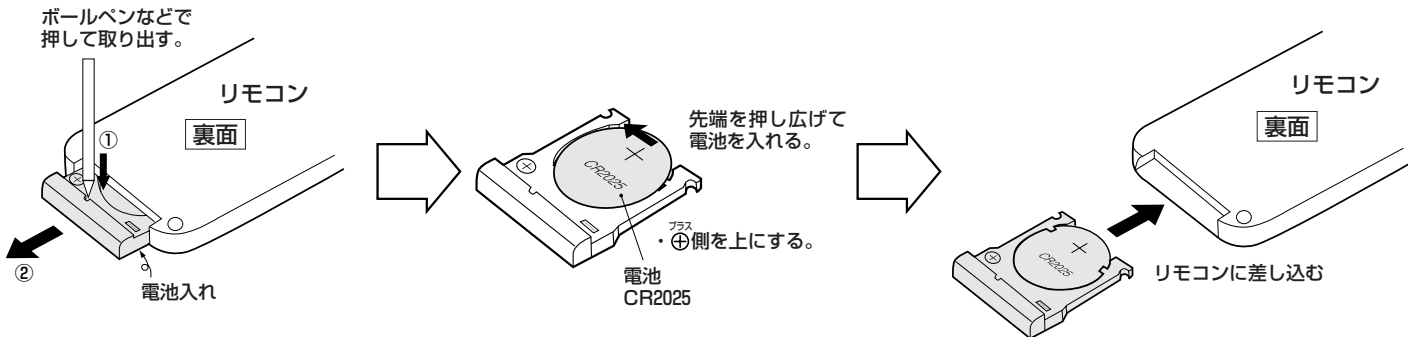
→16ページ参照

リモコン(RM-RK36 : 別売り)の使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。

電池の入れかた

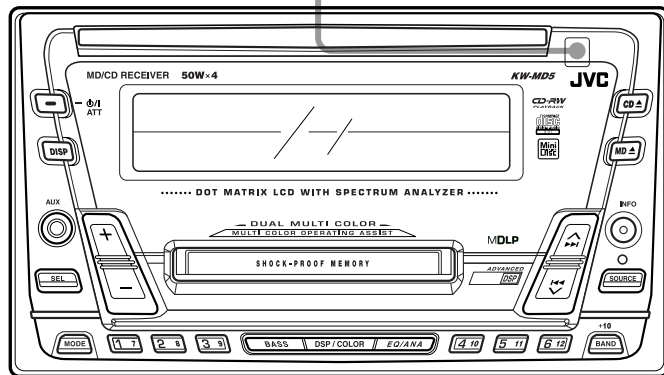


● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

リモコン受光部



各部の名前と働き

電源/ATTボタン

1秒以上押すと電源の「入」↔「切」ができます。「ボン」と押すと音量を一時的に下げることができます。

DISC+/BANDボタン

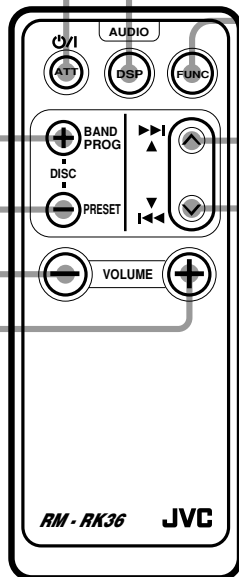
- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CD-CH」のとき：CDが選べます。
(PROGの機能はありません)

DISC-/PRESETボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch～6ch)の選局ができます。
- ・「CD-CH」のとき：CDが選べます。

VOLUME+、-(音量)ボタン

- 音量の調節ができます。
- ・+：音量が上がります。
 - ・-：音量が下がります。



DSPボタン

DSPの音場を選ぶとき使います。

FUNCボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。押すごとに

ラジオ → CD → MD → CD-CH → AUX

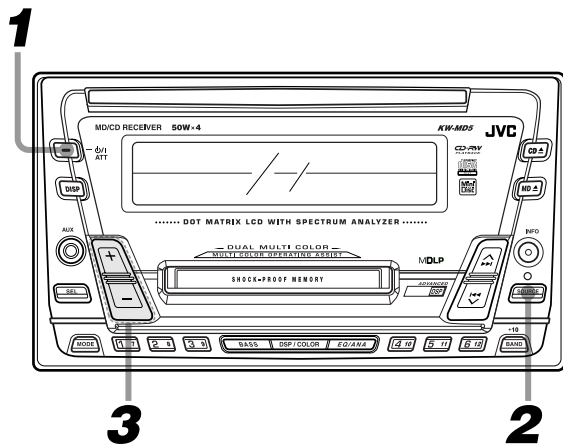
と変わります。ただし本体にMDやCDが入っていないか、CDチェンジャーが接続されていないときは、ラジオ ↔ AUXになります。なお、本体のSOURCEボタンのように電源を入れることはできません。

▲、▼ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局(自動選局)ができます。
- ・「MD」、「CD」と「CD-CH」のとき：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。
(▲と▼の機能はありません)

基本操作

— 番号順に操作します。 —



1 φ/I ATT (電源) ボタンを押す



・電源が入り、表示窓に「HELLO！」が表示され、ソース(音源)は、お買い上げ時「ラジオ(FM1)」になります。

2 SOURCEボタンを押して聞きたいソース(音源)を選ぶ



- ラジオ : FMまたはAM放送
→ 39 ページ参照
- CD*1 : 本機に入れたCDの音
→ 30 ページ参照
- MD*1 : 本機に入れたMDの音
→ 32 ページ参照
- CD-CH*2 : CDチェンジャーの音
→ 43 ページ参照
- AUX : 他の機器の音
→ 40 ページ参照

*1 CDおよびMDが入っているときのみ

*2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

3 +、- (音量) ボタンで音量を調節する



・VOLUME 00~VOLUME 50の範囲で調節できます。
詳しくは 34 ページをご覧ください。

● 音量を一時的に下げる



表示窓に「ATT」が点滅表示されます。もう一度「ボン」と押すと、元の音量に戻ります。

- ・「ボン」と押す。

● 電源を「切」にする



電源(電源) ボタンを1秒以上押します。表示窓に「SEE YOU」が表示され、電源が切れます。車のエンジンキーを「OFF」にしたときも同じです。

- ・1秒以上押す。

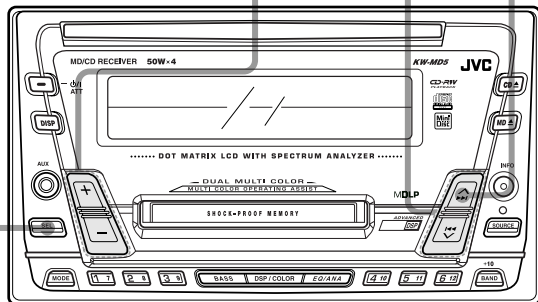
〈お知らせ〉

- 電源を「切」にしてもソース(音源)は、メモリーされています。次に電源を入れたときは、聞いていたソース(音源)で演奏が始まります。
- 電源を「切」のときもCDやMDの出し入れができます。CD▲(取出し)ボタンまたはMD▲(取出し)ボタンを押してください。CDやMDが出てきたのち電源が切れます。

時計の合わせかた

— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —

1 3-1・3-3 2 3-2



1 SELボタンを2秒以上押す

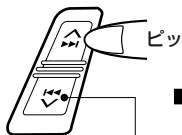


→ PSM が表示されます。

・ 2秒以上押す。

このあと選ばれているモードに表示が変わります。

2 (または) ボタンを「ポン・ポン」と押して「CLOCK HOUR」を選ぶ



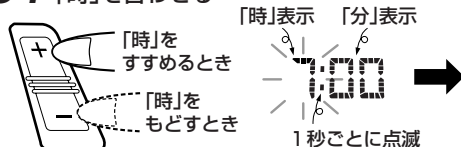
→ CLOCK HOUR

逆に表示されます。

3 +、- (音量) ボタンと (時計) ボタンで現在時刻に合わせる (時刻表示点滅中に操作します)

例：7時30分に合わせるとき(12時間表示方式です)

3-1 「時」を合わせる



「時」表示 「分」表示

「時」を
すすめるとき

「時」を
もどすとき

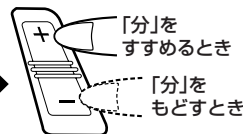
1秒ごとに点滅

・ 調節中は文字表示部にCLOCK HOURが表示されます。

3-2 「CLOCK MIN」^{ミニッツ}を表示させる



ピッ



「分」を
すすめるとき

「分」を
もどすとき

・ 調節中は文字表示部にCLOCK MINが表示されます。

- ・ 時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース(音源)表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ポン」と押します。
- ・ 時刻を合わせ直すときも2~3の操作をします。
- ・ 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- ・ お買い上げ時は、電源「切」のとき時計が表示されないようになっていきます。表示されるようにすることもできます。→ 24ページ参照
- ・ バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

時計表示／ビープ音について

電源「切」のとき時計を表示させる

電源「切」のとき表示窓に時計を表示させることができます。また表示窓の背面照明やボタンの照明も「オン」のままになります。

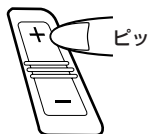
1 SELボタンを2秒以上押す



2秒以上押す。

2 △(または▽)ボタンを「ポン・ポン」と押して「CLOCK DISP」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンの+側を押して「CLOCK ON」または「CLOCK DEMO」にする



・一側を押すと逆に変わります。

- CLOCK ON : 電源「切」のとき時計表示
- ↓
- CLOCK DEMO : 電源「切」のとき時計とアニメ表示
- ↓
- ←CLOCK OFF : 表示なし(お買い上げ時の状態)

- ・車のエンジンキーをオフにした場合、本機の電源が「切」にならない車種の場合は、「CLOCK ON」または「CLOCK DEMO」にしないでください。バッテリーを消耗する原因となります。
- ・リモート出力を車両のオートアンテナに接続しないでください。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

ボタンを押したときの「ピッ」音を、鳴らなくする

ボタンを押したときの「ピッ」音を、鳴らなくすることができます。

1 SELボタンを2秒以上押す



2秒以上押す。

2 △(または▽)ボタンを「ポン・ポン」と押して「BEEP」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンの-側を押して「BEEP OFF」にする



「OFF」にするとき

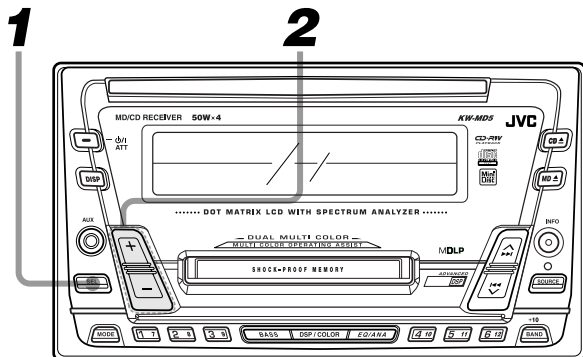
・「BEEP OFF」にすると、ボタンを押したときの「ピッ」音が鳴らなくなります。

(鳴らすように戻すときは、+側を押して「BEEP ON」にします)

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

音量・音質の調節



〈お知らせ〉

- フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節してください。

1 SELボタンを押して調節したいモードを選ぶ



ピッ

・「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に

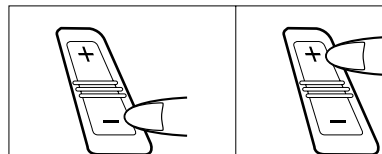
FADER → BAL
↑ VOLUME ↓

・「ボン」と押す。

と変わります。ただしVOLUME(音量)調節のみの場合、この操作は、必要ありません。直接+、-(音量)ボタンで調節できます。

2 +、-(音量)ボタンを押して調節する

・調節したレベルが表示窓に表示されます。



VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる
FADER (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BALANCE (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる

- 調節が終わってから5秒後に、表示窓は前の表示に戻ります。

● 初期設定状態と調節範囲

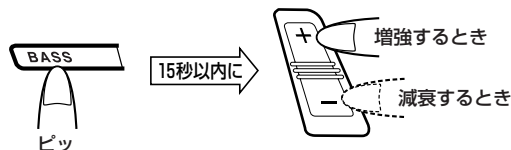
	初期設定	調節範囲
VOLUME(音量)	15	00~50
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア R 6 ~ フロント F 6
BALANCE(バランス)	00(センター)	レフト L 6 ~ ライト R 6

● 音量調節について

MD(CD)の演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げておき、演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

重低音を調節する

重低音を調節するときは、BASSボタンをします。



・「ボン」と押す。
お買い上げのときは、
BASS 00が表示され
ます。

・BASS 00~BASS 50の範囲
で調節できます。

調節後、すぐに元の表示に戻したいときは、もう一度BASSボタンを「ボン」と押します。

〈お知らせ〉

- BASSのレベルは「MULTI-LINK ON」になると、ソース(音源)ごとに設定された内容に変わります。
- リセットの操作をすると調節したレベルは、お買い上げ時の状態に戻ります。

DSPの使いかた

- ・本機には、あらかじめ7つの音場がメモリーされています(これをメーカープリセットといいます)。
ソース(音源)の再生音に合わせて音場を選べば、演奏会場や劇場の雰囲気再現されます。

●メーカープリセット音場の呼び出し

1 DSP/COLORボタンを押す



- ・「DSP」が表示され、設定されているDSP (お買い上げ時は「DEFEAT」)が表示されます。

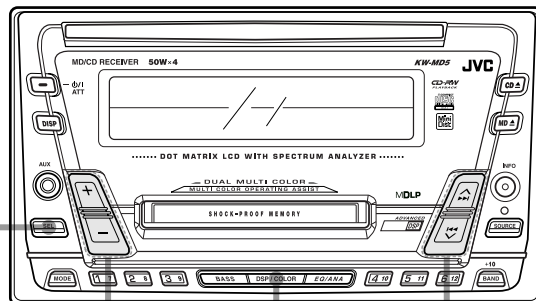
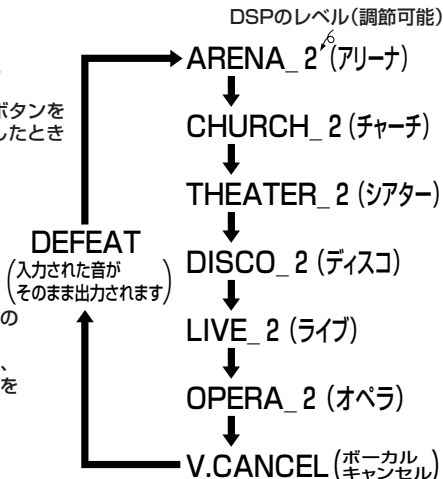
2 ▲(または▼)ボタンを押して音場を選ぶ



逆に選べます。

- ・▼側を押すと逆に選べます。

- ・15秒後にソース(音源)の表示に戻ります。すぐ戻りたいときは、DSP/COLORボタンを2回押します。



4 3・5 1 2

音 場	例えばこんな音楽の再生に
アリーナ	・野外で収録されたコンサートのライブ盤
チャーチ	・バロック音楽 ・ゴスペル調のソウルフルサウンド
シアター	・映画音楽 ・ビデオソフトの音声
ディスコ	・パワフルなロックやポップス系の曲
ライブハウス	・ヘビメタルやロックバンドの演奏
オペラハウス	・オペラやミュージカルなど
ボーカルキャンセル	・歌入りの曲をカラオケにするととき

DSPのレベル調節およびリスニングポジションの設定

アリーナ～オペラはDSPのレベルを変えることができます。カーDSPの目的は、生演奏会場の臨場感を再現することですがこのためには、車室内の非対称音場の改善が必要になります。リスナーの位置に合わせてリスニングポジション(フォーカスのモード)を選んでください。

1 DSP/COLORボタンを押す



- ・ **DSP** が表示され、設定されているDSPが表示されます。
- ・ 各操作は15秒以上間隔をあけないでください。

2 ▲(または▼)ボタンで音場を選ぶ(→24ページ参照)

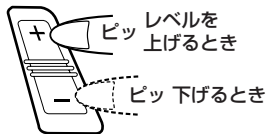


例：ディスコのと看

DISCO_2

逆に選べます。

3 +、-(音量)ボタンでレベルを調節する



レベルを上げるとき

レベルを下げるとき

DISCO_3

DISCO_2

DISCO_1

4 SELボタンを押してフォーカスのモードにする



- ・ お買い上げ時は **ALL SEAT** が表示されます。SEAT表示が点滅します。

5秒以内に

5 +、-(音量)ボタンでリスニングポジションを選ぶ



逆に選べます。

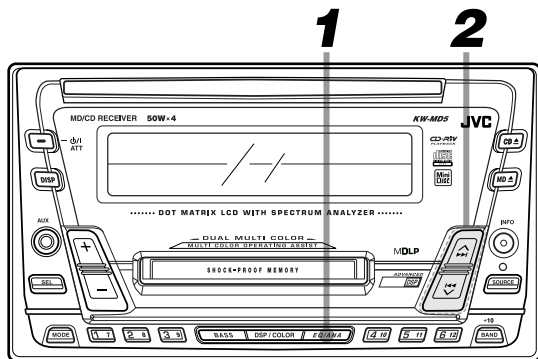


＜お知らせ＞

- ・ DEFEATおよびV. CANCELのレベルを変えることはできません。
- ・ リセットの操作をすると調節したレベルは、お買い上げ時の状態に戻ります。

EQ*の使いかた

・本機には、あらかじめ9つのEQパターンがメモリーされています(これをメーカープリセットといいます)。



〈お知らせ〉

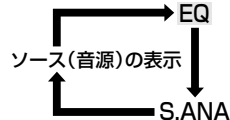
- Eurobeat~Countryには、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- USER_1~USER_3には、ご自分で調節したEQパターンがメモリーできます。→27ページ参照
お買い上げ時はFLATと同じEQパターンになっています。またリセットの操作をすると調節した内容は、お買い上げ時の状態に戻ります。

*EQは：

Equalizer(イコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。

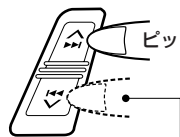
●メーカープリセットの呼び出し

1 EQ/ANAボタンを押して「EQ」を選ぶ



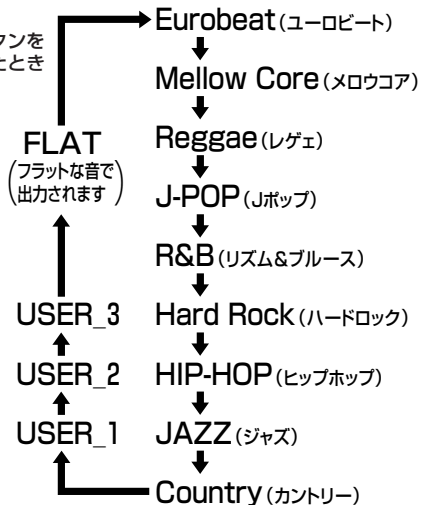
・「EQ」が表示され、設定されているEQパターン(お買い上げ時は「FLAT」)が表示されます。

2 ♪(または♫)ボタンでEQパターンを選ぶ

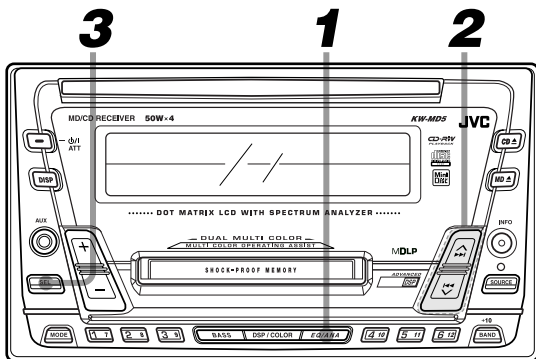


逆に選べます。

- ・15秒後にソース(音源)の表示に戻ります。EQ/ANAボタンを2回押すと、すぐ戻ります。選んだEQパターンで聞くことができます。



EQパターンを調節する



● 調節したEQパターンをメモリーする

調節したEQパターンの内容をメモリーするときは、手順**5**が終了したら必ず**28**ページの手順**6**以降の操作でメモリーしてください。メモリー操作をしないと、元のEQ設定値に戻ります。

1 EQ/ANAボタンを押す

・各操作は15秒以上間隔をあげてください。

2 ▲(または▼)ボタンでEQパターンを選ぶ
(→**26**ページ参照)**3** SELボタンで調節したい項目を選ぶ

・ 押すごとに、各帯域の周波数またはレベルが選べます。

・ SELボタンを押したあと▲(または▼)ボタンを押すと、

LOW FREQ
↓
MID FREQ
↓
HIGH FREQ

の切換えができます。

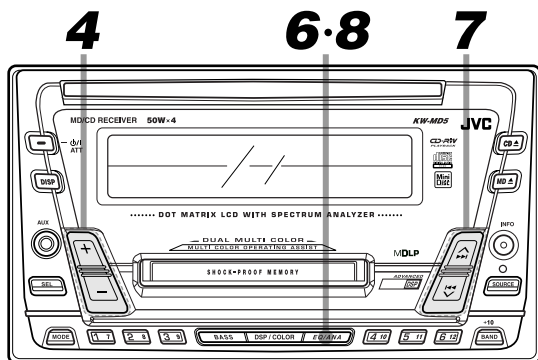


* FREQは :
FREQUENCY(フリケンシー)の略字。

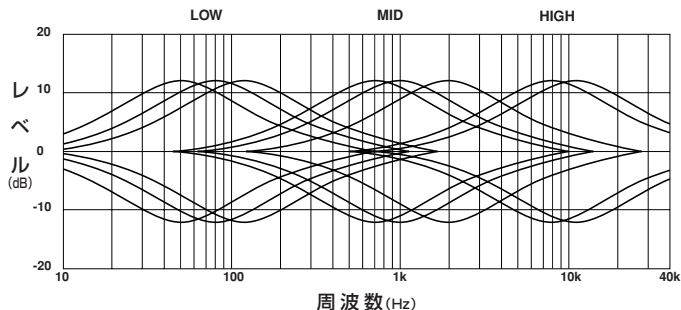
→ **28** ページへ続く

EQの使いかた(つづき)

EQパターンを調節する(つづき)



● EQパターンの各帯域ごとの変化特性図



4 +、- (音量) ボタンで調節する

LOW (低域)	FREQ	50Hz↔80Hz↔120Hz
	LEVEL	0 ± 6
MID (中域)	FREQ	700Hz↔1 kHz↔2 kHz
	LEVEL	0 ± 6
HIGH (高域)	FREQ	8 kHz↔12kHz
	LEVEL	0 ± 6

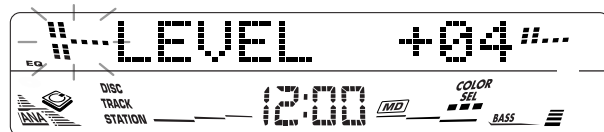


ピツ 上げるとき

ピツ 下げるとき

- ・中心周波数は帯域ごとに選べます。そのあとレベルを調節します。調節した内容が表示窓に表示されます。
- ・レベルは±2 dBずつ調節できます。

5 手順3と4をくり返し、各帯域の項目を調節する



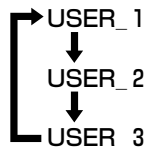
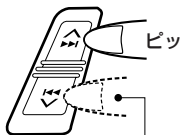
29 ページへ続く

●メモリーしておくとき

6 EQ/ANAボタンを押す

- ・ USER_1 ~ USER_3 のいずれかにメモリーしておくことができます。

7 ▲(または▼)ボタンでメモリー先を選ぶ



逆に選べます。

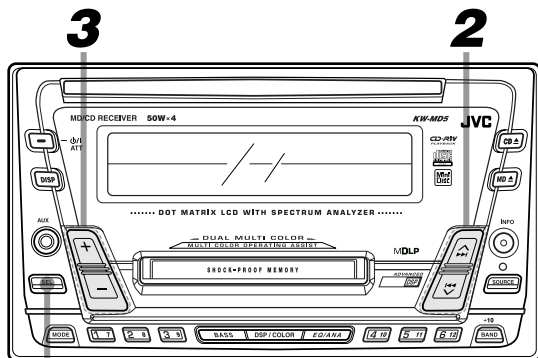
8 EQ/ANAボタンを押す

- ・ 調節したEQパターンがメモリーされます。
- ・ 手順7の操作のあと、5秒以上何もしないと自動でメモリーされます。

MULTI-LINK機能について

MULTI-LINK機能について

MULTI-LINK(マルチリンク)とは、各ソース(音源)ごとにDSP、EQおよびBASSを調節し本機にメモリーしておく機能のことです。お買い上げ時は、MULTI-LINK「OFF」に設定されており各ソース(音源)とも同じDSP、EQおよびBASSの内容になります。



1・4

マルチリンク ●MULTI-LINK機能を「オン」にする

1 SELボタンを2秒以上押す

2 △(または▽)ボタンを「ポン・ポン」と押して「MULTI-LINK」を選ぶ

3 +、-(音量)ボタンの+側を押して「MULTI-LINK ON」にする



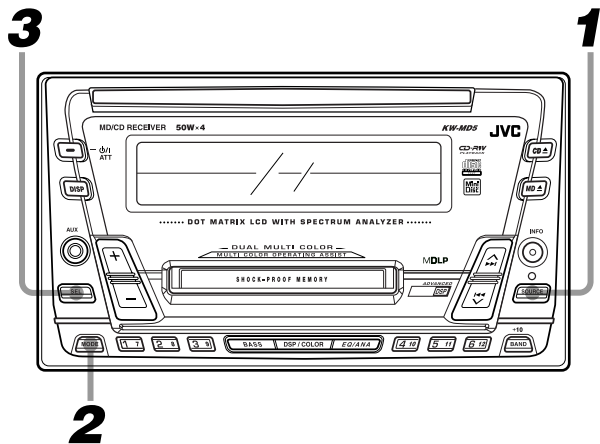
- ・「オン」にすると各ソース(音源)ごとにDSP、EQおよびBASSをプリセットすることができます。お買い上げ時は、各ソース(音源)ともDSP : DEFEAT、EQ : FLAT、BASS : 00になっています。
- ・「MULTI-LINK OFF」に戻すときは、+、-(音量)ボタンの-側を押します。

4 SELボタンを押す

- ・元のソース(音源)表示に戻ります。

MODEボタンの使いかた

— 番号順に操作します。 —

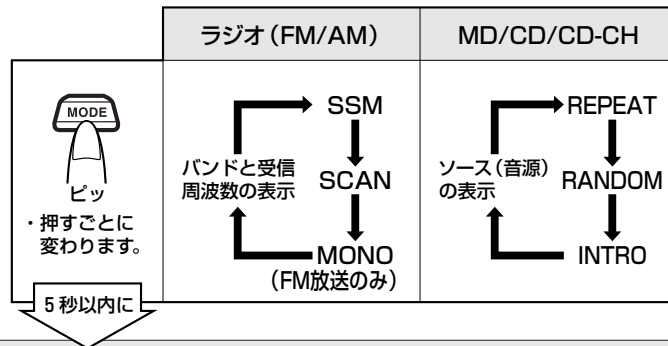


1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を選ぶ



・ラジオまたはMD/CD/CD-CHを選びます。またはディスクを入れます。
(「AUX」および「EXT」のときは、MODEボタンが働きません)

2 MODEボタンを押して使いたいモードを選ぶ



3 SELボタンで設定する



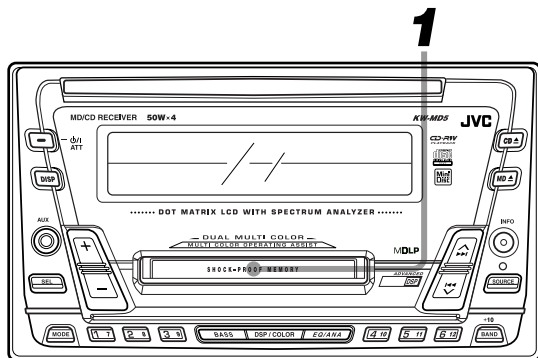
・押すごとに各モードの「ON→OFF」が選べます。

※このボタンはラジオ専用

- ・SSM (スキヤン) → 41 ページ参照
- ・SCAN (モノ) → 40 ページ参照
- ・MONO (レポート) → 41 ページ参照
- ・REPEAT (ランダム) → 34 38 45 ページ参照
- ・RANDOM (イントロ)
- ・INTRO

MDを聞く

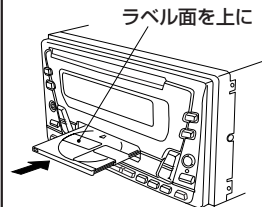
— 番号順に操作します。—




MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向の⇨や⇩の表示に従って本体に入れる。
 - ・無理に押し込まない。
(途中まで入れると自動で引き込まれます)
 - ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。
 - ・カートリッジ表面のほこりやゴミはふき取ってから入れる。

1 MDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)

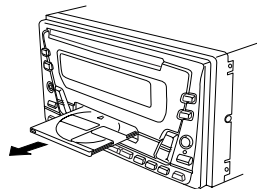


➔ 01 00'05"

- ・ソース(音源)が「MD」になり曲数と演奏時間が表示されたあと、1曲目から演奏が始まります。
- ・MDが入っていることを表すが表示されます。

●MDを取り出すときは

MD▲(取出し)ボタンを押します。「EJECT」が表示され、MDが出てきたのちMDを入れる前のソース(音源)に戻ります。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。この場合、MDが出てきたのち電源が切れます。



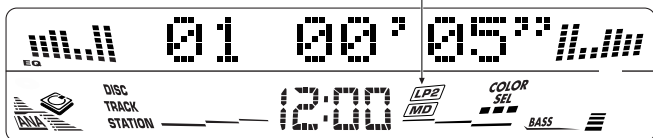
ステレオ2倍長時間再生／4倍長時間再生について

本機はMDLPに対応しております。したがって録音モード(SP、LP2またはLP4)に関係なく演奏できます。LP2またはLP4で録音したMDを演奏すると、表示窓に(LP2)または(LP4)が表示されます。なお、SPの表示はありませんが標準モードで再生されます。

- SP : 標準のステレオ再生(MD80で最大80分)
- LP2 : 2倍長時間再生(MD80で最大160分)
- LP4 : 4倍長時間再生(MD80で最大320分)

例：LP2で演奏のとき

ステレオ2倍長時間再生の表示



● MDLPについて

MDLPで録音されたMDは、MDLPが表示されているMDレコーダー／MDプレーヤーで再生できます。

● MDを入れると…

ソース(音源)は、自動的に「MD」になり「MD」が表示され演奏がスタートします。またMD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。

またモノラルで録音されたMDを入れると、自動的にモノラルで演奏されます。

● データ用MDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

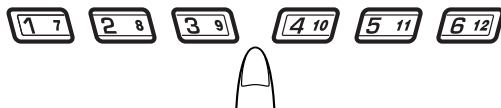
〈お知らせ〉

- MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、標準モード(SP)で再生できます。
- モノラルで録音されたMDを演奏した場合、演奏時間が正確に表示されないことがあります。

MDを聞く(つづき)

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



・ 1～6 曲目を聞くときは…

聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。

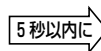
例：3 曲目のとき



・ 13曲目以上は

+10

BAND



1 7 ~ 6 12 を押します。

ピッ

例：15 曲目

+10

BAND

5 11

例：20 曲目

+10

BAND

4 10

1 秒以上押す。

・ 7～12 曲目を聞くときは…

聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。

例：11 曲目のとき



・ 1 秒以上押す。

1 曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



REPEAT ON

・ 表示窓に「RPT」が表示されます。

・ 「REPEAT」を表示させる。
もう一度SELボタンを押すと、解除されます。

ランダム演奏

演奏中のMDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



RANDOM ON

・ 表示窓に「RND」が表示されます。

・ MODEボタンを2回押して「RANDOM」を表示させる。
もう一度SELボタンを押すと、解除されます。

イントロスキップ

イントロスキップ中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキップを解除します。



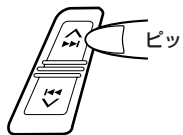
INTRO ON

・ イントロスキップ中の曲の曲番号が点滅します。聞きたい曲が見つかったらSELボタンを押します。その曲の頭から演奏されます。

・ MODEボタンを3回押して「INTRO」を表示させる。もう一度SELボタンを押すと、解除されます。

スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞く



・▶ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

●演奏中に前の曲を聞く

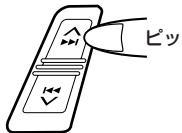


・◀ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

・演奏中のMDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

●早送り



▶ボタンを押し続ける

●早戻し



◀ボタンを押し続ける

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すと普通の演奏に戻ります。

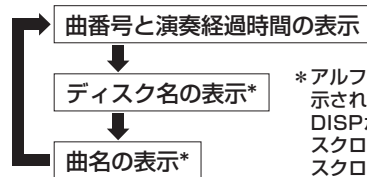
表示窓にディスク名を表示させる

MDを挿入すると演奏がスタートし、表示窓に「ディスク名→曲名→曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。

DISPボタンを「ポン・ポン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます。



・押すごとに変わります。



*アルファベットやカナがスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。また曲名がスクロール表示されるとき、曲番号も表示されます。

なお、MDにディスク名や曲名が記録されていないときは表示されません。「NO NAME」が表示されます。

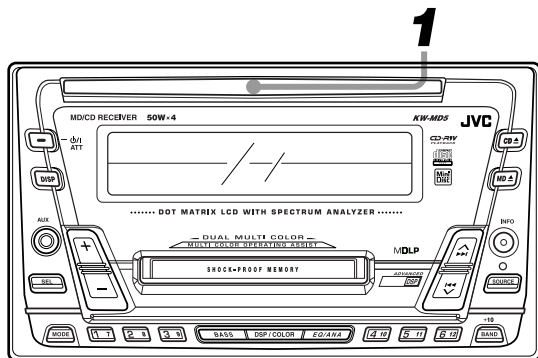
MDLPで録音したMDの場合、曲の頭に「LP:」が記録されているため、曲名が正しく表示されないことがあります。

＜お知らせ＞

スクロール表示は、お買い上げ時は1回自動でスクロール(ONCE)^{フンス}の状態になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。→P.100ページ参照

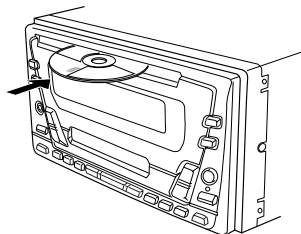
CDを聞く

— 番号順に操作します。 —



● 8センチCDの入れかた

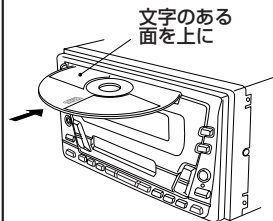
8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れます。




● CDを入れると…

ソース(音源)は、自動的に「CD」になり「CD」が表示され演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入ると自動的に演奏がスタートします。

1 CDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)

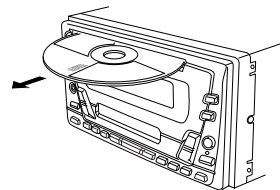


➔ 01 00' 05"

- ・ソース(音源)が「CD」になり曲数と演奏時間が表示されたあと、1曲目から演奏が始まります。
- ・CDが入っていることを表すが表示されます。

● CDを取り出すときは

CD▲(取出し)ボタンを押します。「EJECT」が表示され、CDが出てきたのちCDを入れる前のソース(音源)に戻ります。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。この場合、CDが出てきたのち電源が切れます。



(演奏中だったCDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動的に中に引き込まれます)

〈お知らせ〉

- 文字のある面にまたは、、のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置しないでください。
- MP3には対応しておりません。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- 本機は半角、英数字に限り対応しております。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

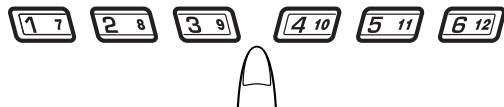
CDテキストについて



「CDテキスト」は、今までの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの新しい機能です。本機にCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。

ダイレクト演奏

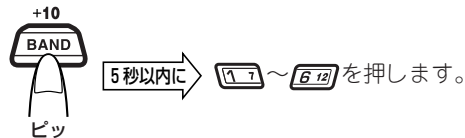
演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11曲目のとき



- 13曲目以上は



例：15曲目



例：20曲目



CDを聞く(つづき)

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



・表示窓に「RPT」が表示されます。

・「REPEAT」を表示させる。
もう一度SELボタンを押すと、
解除されます。

ランダム演奏

演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。

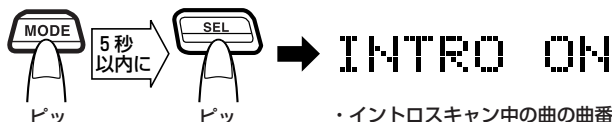


・表示窓に「RND」が表示されます。

・MODEボタンを2回押して
「RANDOM」を表示させる。
もう一度SELボタンを押すと、
解除されます。

イントロスキャン

イントロスキャン中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキャンを解除します。

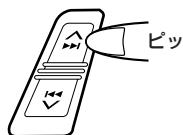


・イントロスキャン中の曲の曲番号が
点滅します。聞きたい曲が見つ
たら◀ボタンを押します。その曲の
頭から演奏されます。

・MODEボタンを3回押して
「INTRO」を表示させる。
もう一度SELボタンを押すと、
解除されます。

スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞く



・▶ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲
次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

●演奏中に前の曲を聞く

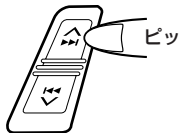


・◀ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の
曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の
頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

・演奏中のCDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

●早送り



▶ボタンを押し続ける

●早戻し



◀ボタンを押し続ける

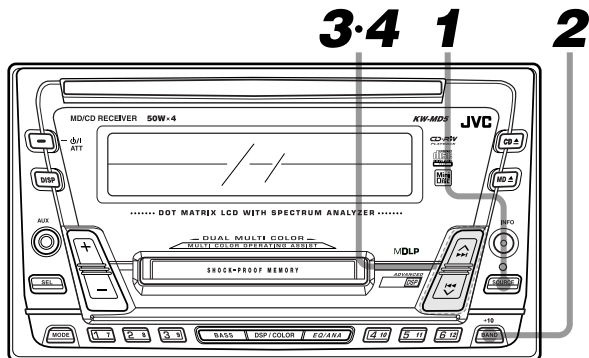
サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。
このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。
指を離すと普通の演奏に戻ります。

ラジオを聞く

— 番号順に操作します。 —

マニュアル選局

電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときに使います。



● マニュアル選局のモードは…

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(→40ページ参照)のモードになります。

1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を「ラジオ」にする



ラジオ → CD* → MD*

AUX ← CD-CH*

*本機にCDやMDが入っているとき、およびCDチェンジャーが接続されているとき

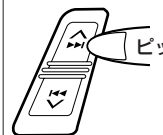
・表示窓にバンドと周波数が表示されます。お買い上げ時は、FM1 76.0が表示されます。

2 BANDボタンでバンドを選ぶ



・押すごとに FM1 → FM2
↑ ↓
AM2 ← AM1
と変わります。
・AM放送はモノラル受信です。

3 選局ボタン(△または▽)を1秒以上押してマニュアル選局のモードにする



・選局ボタン(△または▽)を1秒以上押して表示窓に「M」を点滅させます。

4 選局ボタン(△または▽)で放送局に合わせる




	受信周波数
FM放送	76.0MHz~90.0MHz
AM放送	522kHz~1,629kHz

・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。 —


プリセット選局

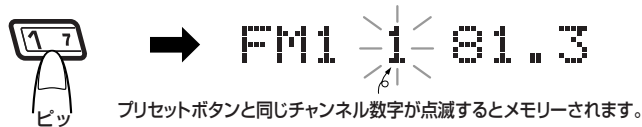
本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタンにメモリーするには…

1 BANDボタンで「FM1」を選ぶ → FM1

2 選局ボタン(▲または▼)で希望の放送局に合わせる

3 プリセットボタンの「」を2秒以上押す



- ・バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

ご注意

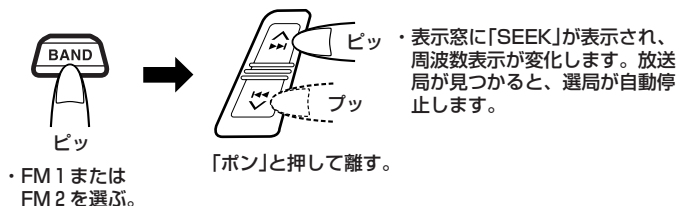
- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

シーク選局(自動選局)

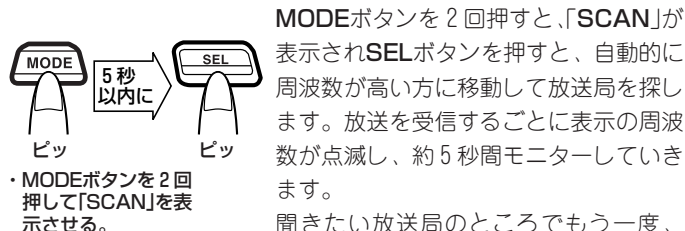
「M」が表示窓に表示されていないときは、選局ボタン(▲または▼)を「ポン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。

希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



スキャン選局



聞きたい放送局のところでもう一度、MODEボタンを押すとスキャン選局を停止し、その放送を継続して聞くことができます。

SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

チューナーが自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。

旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM1にメモリーするとき

1 BANDボタンでバンドを選ぶ(FM1にする)



2 MODEボタン→SELボタンを押す



・「SSM」を表示させる。

・チューナーが放送局を探し、自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に、プリセットボタンの(1)～(6)にメモリーしていきます(前のメモリー内容は取り消されます)。

3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

・プリセットボタン(1)～(6)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

FM放送が雑音で聞きにくいときは



・MODEボタンを3回押して「MONO」を表示させる。

FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、FM放送の受信モードを切換えます。表示窓に「MONO ON」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。表示窓に「MO」が表示されます。

電波状態が良好になったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切換え、「ST」表示に戻してお使いください。

アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**オートアンテナ** コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を「ラジオ」にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“CD”、“MD”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**オートアンテナ**)の最大コントロール電流は250mAです)

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところで**INFO**ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく**1,620kHz**が受信できます。

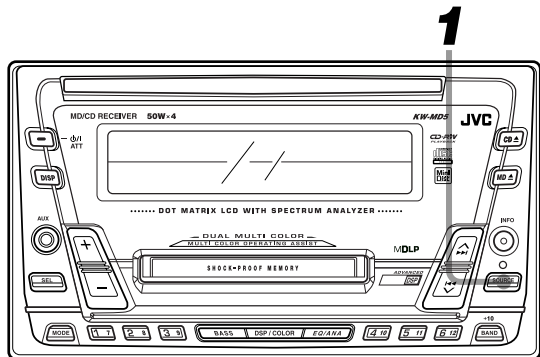
INFO 1620

- **INFO**ボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中に**INFO**ボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量が**INFO**ボタンにメモリーされます。
- 電源を入れることもできます。

CDチェンジャーのCDを聞く

— 番号順に操作します。 —

全曲演奏 — CDチェンジャー内のマガジンにはあらかじめCDを入れておいてください。 —



1 SOURCEボタンを押してソース（音源）を「CD-
チェンジャー
CH」にする→演奏が始まります



ピッ



01 00'05"

曲番号

演奏経過時間

ラジオ → CD* → MD*

AUX ← CD-CH

*本機にCDやMDが入っているとき

・CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると、止まったときの曲から自動的に演奏が始まります。

CDのディスク名や曲名を表示させる

DISP

ピッ

・押すごとに
変わります。

曲番号と演奏経過時間の表示

ディスク番号と曲番号表示 (CDチェンジャー)
のときのみ

ディスク名の表示*1

曲名の表示*1

*1 アルファベット(CDの場合カナも表示)や数字がスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。また曲名がスクロール表示されるとき、曲番号も表示されます。ディスク名や曲名が記録されていないと、「NO NAME」が表示されます。

(曲名の表示はCDテキスト対応のCDのときのみです。また日本語のテキストは表示されません)

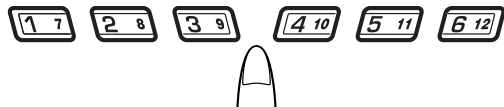
- 最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のCDの演奏が始まります(全マガジン内のCDのくり返し演奏になります)。
- 演奏を途中でやめる
SOURCEボタンを押して他のソース(音源)に切替えます。
- SOURCEボタンを押しても「CDチェンジャー」に切替えができないときは…
CD-CHのソース(音源)を「LINE INPUT」から「CDチェンジャー」のモードに変えます。→107ページ参照

ラジオを聞く(つづき)・CDチェンジャーのCDを聞く

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

CDダイレクト選択ボタンの使いかた

聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの下から順に1・2・3…となっています)

- ・ 1～6枚目を選ぶときは：大きく表示されている番号のボタンを「ボン」と押します。

例：2枚目のとき



- ・ 7～12枚目を選ぶときは：小さく表示されている番号のボタンを1秒以上押します。

例：10枚目のとき



- ・ 1秒以上押す。

スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞く



- ・ ⏩ボタンを「ボン」と1回押すごとに次の曲の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

●演奏中に前の曲を聞く



- ・ ⏪ボタンを「ボン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- ・ 演奏中の曲の途中の位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。

●早送り



⏩ボタンを押し続ける

●早戻し



⏪ボタンを押し続ける

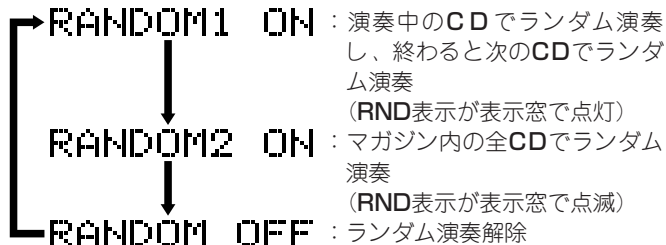
サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

ランダム演奏

- CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- MODEボタンを2回押して「RANDOM」を表示させる。
- SELボタンを押すごとに次のように動作します。

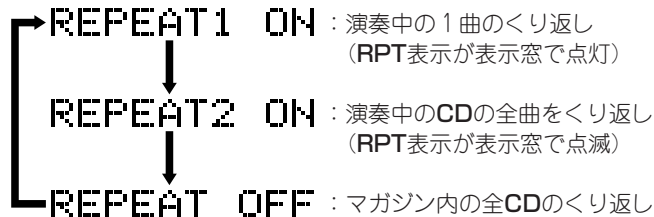


リピート演奏(くり返し演奏)

- 演奏中の曲をくり返して聞くことができます。

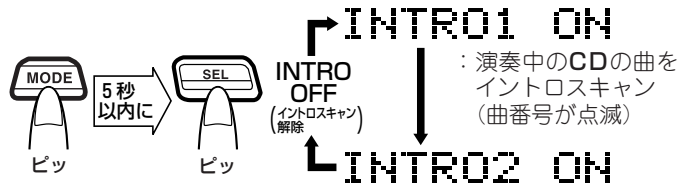


- 「REPET」を表示させる。
- SELボタンを押すごとに次のように動作します。



イントロスキャン

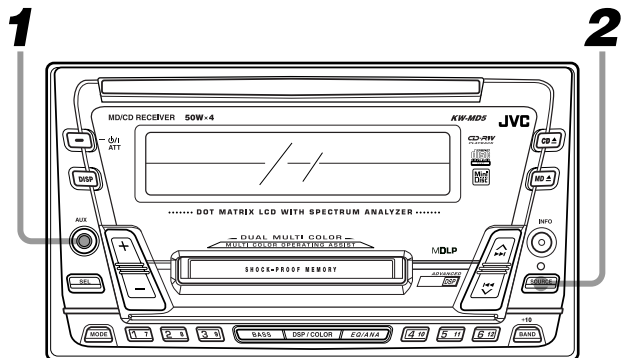
- 聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏します。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀ボタンを押します。



- MODEボタンを3回押して「INTRO」を表示させる。
 - SELボタンを押すごとに次のように動作します。
- INTRO1 ON** : 演奏中のCDの曲をイントロスキャン (曲番号が点滅)
- INTRO OFF (イントロスキャン解除)**
- INTRO2 ON** : 全CDの1曲目をイントロスキャン (ディスク番号が点滅)

他の機器の音を聞く

— 番号順に操作します。 —



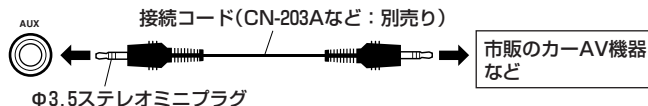
〈お知らせ〉

● 他の機器の音が小さいときは

SELボタンで「AUX ADJ」を選ぶと、AUX端子の入力感度を変えることができます。→47ページ参照

- 他の機器 (RCAの2チャンネル出力端子付) は、変換コード：KS-U57 (別売り) を使ってCDチェンジャー端子に接続することができます。47ページを参照し、CD-CHのソース (音源) を「LINE INPUT」に変えてからお使いください。「CD-CH」表示が「EXT」表示に変わります。すでにCDチェンジャーが接続されている場合は、ご利用になれません。

1 他の機器をAUX端子に接続する



2 SOURCEボタンを押してソース (音源) を「AUX」にする



*本機にCDやMDが入っているとき、およびCDチェンジャーが接続されているとき

- ・「AUX」を選ぶと、表示窓は「AUX INPUT」に変わります。この表示を接続した機器の名称 (TVやDVDなど) に変えることができます。→44ページ参照
- ・他の機器をCDチェンジャー端子に接続したときは、「EXT」を選びます。EXT表示がEXT INPUT表示に変わります。

3 接続した機器を演奏状態にする

- ・接続した機器に音量調節があるときは、MDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

AUX端子の入力感度を調節する

AUX端子に接続した他の機器の音が小さすぎるときは、入力感度を調節します。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▲(または▼)ボタンを「ポン・ポン」と押して「AUX ADJ」を選ぶ

・2秒後に「A. ADJ 00」に変わります。

3 +、- (音量) ボタンでAUXの入力感度を調節する



入力感度を
上げるとき

ピッ 下げるとき

・調節範囲は
A. ADJ 00~05です。

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

CD-CHのソース(音源)を変更する

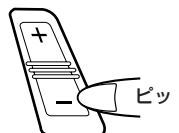
CDチェンジャー端子に他のカーAV機器を接続したときは、CD-CHのソース(音源)を「LINE INPUT」に変えます。

1 ソース(音源)を「ラジオ」にする

2 SELボタンを2秒以上押す

3 ▲(または▼)ボタンを「ポン・ポン」と押して「EXT INPUT」を選ぶ

4 +、- (音量) ボタンの一側で「LINE INPUT」にする



CD CHANGER : CDチェンジャーをつな
いだとき

↓
LINE INPUT : 他のカーAV機器をCD
チェンジャー端子につな
いだとき

・+側を押すと「CD CHANGER」に
戻せます。

5 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

＜お知らせ＞

- ・ソース(音源)が「CDチェンジャー」のときは、手順3のとき「EXT INPUT」になりません。

文字入力のしかた

文字の入力のしかた(修正・削除)

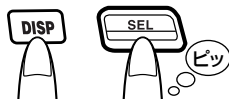
局名を入力したいときは、次の手順で入力します。入力した局名を修正(削除)するときも同じ操作になります。ラジオは32局分を最大10文字まで入力できます。またAUXは最大10文字まで入力できます。

1 SOURCEボタンを押してソース(音源)を選ぶ

・ラジオまたはAUXにします。

2 DISPを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す

例：ラジオを選んだとき



点滅(カーソルといいます)



・押したまま…

15秒以内に

3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ



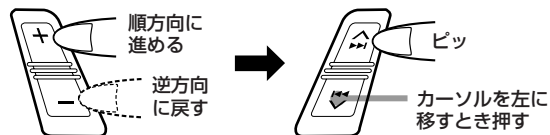
・押すごとに変わります。

カナ → 英大文字 → 英小文字 → 数字・記号

カーソルが文字の種類と交互に点滅します。このときカーソルだけ移動するには、△ボタンを押します。

詳しくは ④ ページの「文字配列表」参照

4 +、-(音量)ボタン → △ボタンで局名を入力する



①文字を選び…

②カーソルを右に移す。文字が確定します。

- ・文字を間違えたときは、▽ボタンでカーソルを戻し+、-(音量)ボタンで正しい文字を上書きします。
- ・「AUX INPUT」表示を接続した機器の名称に変更するとき、上書きします。

5 SELボタンを押して確定する



ピッ

- ・文字を消したいときは、4の操作のとき空白(スペース)を選び確定します。
- ・全て空白(スペース)を入力すると、局名を消すことができます。また▽ボタンと△ボタンを同時押ししたときも表示を消すことができます。SELボタンを押して確定すると局名を消すことができます。

〈お知らせ〉

- ・33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。使用しない局名は消してください。

文字配列表

●カナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
ー	。`	ゝ	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	’	()	*	
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

50 ●放送局名の中で・(中黒)と α (アルファ)は、入力できません。

MD/CDタイトルのスクロール表示のモードを変える

スクロール表示のモードを変える

MD/CDタイトルのディスク名または曲名を切換えたとき、1回スクロール表示されます。スクロール表示のモードは変えることができます。(放送局名は、スクロール表示されません)

1 SELボタンを2秒以上押す

2 (または) ボタンを「ポン・ポン」と押して「SCROLL」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンを押してスクロールのモードを選ぶ



・ -側を押すと逆に選べます。

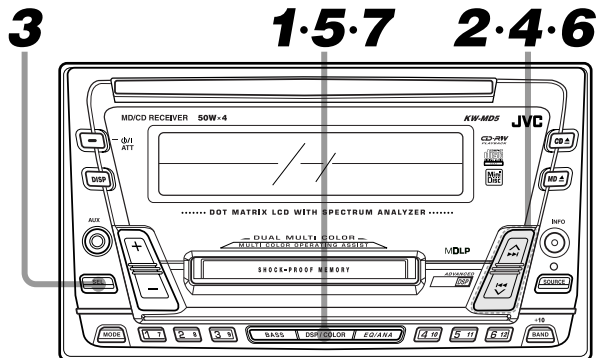


4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)表示に戻ります。

マルチカラー表示について

- お買い上げ時は「ALL DEMO」に設定されており一定時間ごとに表示窓の背面照明の色が変わります。



〈お知らせ〉

- DIMMERが働くと、背面照明の色も少し変わります。
- BERRY_2、SKY_2、SEA_2、FOREST_2、TWILIGHT_2、SUNRISE_2、SNOW_2を選ぶと一定間隔で背面照明の色が変わります。
- BERRY_1～OFFを選ぶと、上段と下段の表示窓の色を好みに組み合わせメモリーしておくことができます。ただし、ALL DEMOの色を変えることはできません。この場合、上下で同じ色(SNOWなど)を選んでも完全に同色とならないことがあります。
- 表示窓の上段または下段の色の設定によっては、OFFに設定した表示窓の明るさが異なります。

● マルチカラー表示を変える

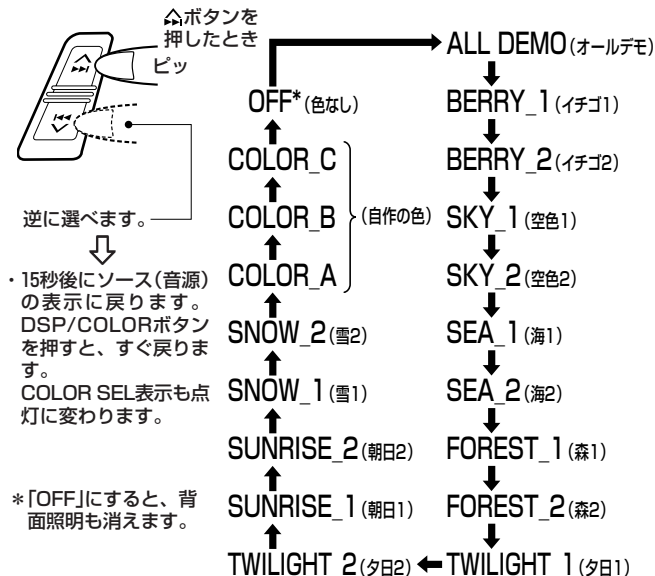
1 DSP/COLORボタンを2回押す

DSP / COLOR



- 「COLOR」と表示されたあと、設定されている色(お買い上げ時は「ALL DEMO」)が表示されます。COLOR SEL表示が点滅します。

2 ♡(または♡)ボタンで色を選ぶ



マルチカラー表示について(つづき)

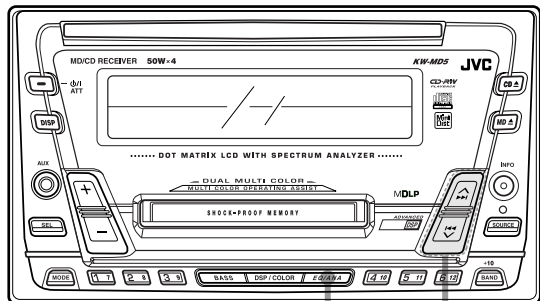
- MULTI COLOR OPERATING ASSIST(マルチカラーオペレイティングアシスト)について

動作状態に応じて表示窓の背面照明の色が変わります。

- ・ 船(電源)ボタンを「ボン」と押して音量を一時的に下げたとき
- ・ EQ/ANAボタンを押したあと⦿または🎧ボタンでEQパターンを選んでいるとき
- ・ MD/CDを出し入れしているとき
- ・ 電源を「入↔切」したとき
- ・ DSP/COLORボタンを押したあと⦿(または🎧)ボタンでDSPの音場を選んでいるとき

スペアナ*表示を変える

- お買い上げ時は、表示窓がスペアナ表示のALL DEMOになっております。▲(または▼)ボタンでスペアナ表示を変えることができます。



1 2

*スペアナ(スペクトラムアナライザーの略)

ソースの音の周波数成分の分布を表示してくれます。

● スペアナ表示の選択

1 EQ/ANAボタンを2回押す

EQ/ANA



ピッ
・2回押しで離す。

- 「S. ANA」と表示されたあと設定されているスペアナ(お買い上げ時は「ALL DEMO」)が表示されます。
- ALL表示が点滅に変わります。

2 ▲(または▼)ボタンを押してスペアナを選ぶ



- ▼側を押すと逆に選べます。

- 15秒後にソース(音源)の表示に戻ります。すぐ戻りたいときは、EQ/ANAボタンを押します。

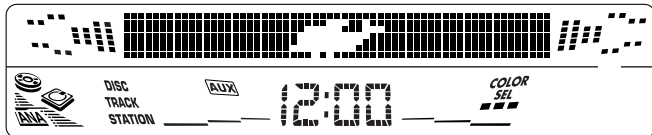


表示窓のモードを変える

●表示窓のデモ表示について

本機は、一定時間*無音状態が続くと、自動で以下のようなデモ表示を行います。

デモ表示の例



*一定時間とは：

- 初めて電源を入れたときは15秒間
- リセットボタンを押してリセットしたときは15秒間
- 入力信号のない状態(ソースを「AUX」にしているときなど)が3分以上続いたとき

デモ表示を出なくするには、右の説明の「表示窓のデモモードの解除」をご覧ください。

表示窓のデモモードの解除／設定

表示窓のデモ表示を出なくすることができます(デモモード解除)。

1 SELボタンを2秒以上押す

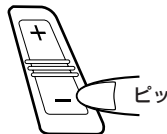


PSM が表示されます。

2秒以上押す。

2 (または) ボタンを「ポン・ポン」と押して「DEMO」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンの一側を押して「DEMO OFF」にする



「OFF」にするとき

・「DEMO OFF」にすると、デモ表示を出なくすることができます。
通常は、「DEMO OFF」で使用することをお勧めします。

(デモモードを再設定するときは、+、-ボタンの+側を押して「DEMO ON」にします)

4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓の明るさ／コントラストを変える

— 番号順に操作します。 —

表示窓の明るさを変える

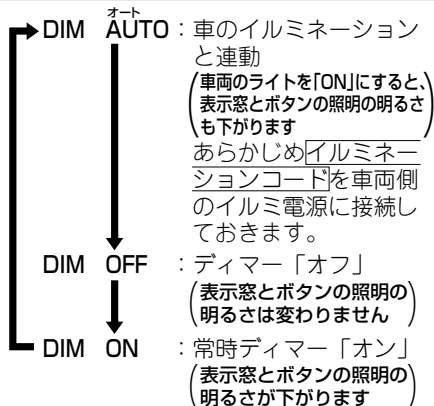
1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▲(または▼)ボタンを「ポン・ポン」と押して
「DIMMER」を選ぶ

3 +、- (音量)ボタンでディマーのモードを選ぶ



・ 一側を押すと逆に選べます。



4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)表示に戻ります。

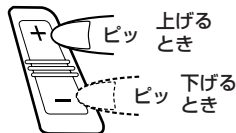
表示窓のコントラストの調節

表示窓の文字表示部が見えにくいときには、コントラストを調節します。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 ▲(または▼)ボタンを「ポン・ポン」と押して
「CONTRAST」を選ぶ

3 +、- (音量)ボタンでコントラストを調節する



・ 「CONTRAST 1～10」までの範囲で調節できます。運転席から表示窓を見て、見やすくなるように設定します。

・ お買い上げ時は、「CONTRAST 5」になっています。

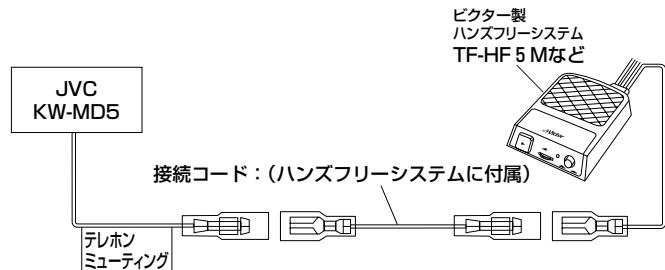
4 SELボタンを押す

・ 元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のモードを変える・表示窓の明るさ／コントラストを変える

テレホンミュートについて

接続のしかた



- 接続については、別冊の取付説明書をご覧ください。

テレホンミュートとは

ピクチャー製のハンズフリーシステム：TF-HF 5 Mなどと接続した携帯電話やPHSに着信すると、「TEL」が表示され本機の音自動的に出なくなります。これをテレホンミュートといい通話しやすくなります。

相手が切る*と自動で本機からの音が出るように戻ります。

- * ピクチャー製のハンズフリーシステムは、自動着信&自動終了方式となっております。こちらで通話をON/OFFする必要はありません。

<お知らせ>

- ピクチャー製のハンズフリーシステムに適用する携帯電話やPHSは、ハンズフリーシステムのカatalog・取扱説明書をご覧ください。また日本ピクチャーのホームページでもご覧になれます。
日本ピクチャーのホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

ピクチャー製品ハンズフリーシステム：TF-HF 5 Mをお使いになるとき

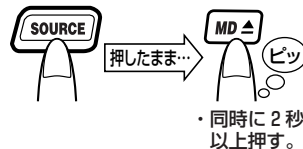
- 携帯電話またはPHSに着信すると、テレホンミュートの働きで本機の音は、出なくなります。通話が終わったとき携帯電話またはPHSによっては、本機の音が復帰しないことがあります。このようなときは、TF-HF 5 Mのマイク部にある発信ボタンを「ボン」と押してください。本機の音が出るようになります。
- 携帯電話またはPHS本体を操作して電話をかけたときは、本機のテレホンミュートは働きません。音が出たままになります。このようなときは、TF-HF 5 Mのマイク部にある発信ボタンを「ボン」と押してください。テレホンミュートが働いて本機の音が出なくなります。

詳しくは、ハンズフリーシステム：TF-HF 5 Mの取扱説明書をご覧ください。

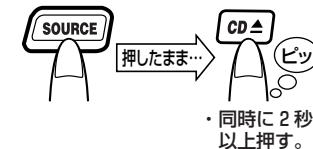
MD/CDの盗難防止


本機に入れたMDやCDを、他の人が取り出せなくすることができます。


MDの場合



CDの場合



- ・「**MD** 」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。
- ・もう一度同じ操作をすると、「**EJECT OK**」が点滅表示されMDの取り出しができます。



- ・「**CD** 」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。
- ・もう一度同じ操作をすると、「**EJECT OK**」が点滅表示されCDの取り出しができます。

〈お知らせ〉

- ・本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

テレホンミュートモードを変える

1 SELボタンを2秒以上押す


2  (または ) ボタンを「ボン・ボン」と押して「TEL MUTING」を選ぶ

3 +、- (音量) ボタンの一側を押してミュートモードを選ぶ



・ +側を押すと「MUTING ON」に戻せます。

MUTING ON : テレホンミュートモードを使うとき (お買い上げの状態)

MUTING OFF : テレホンミュートモードを使わないとき
(テレホンミュートモードについては  ページをご覧ください)

4 SELボタンを押す

・元のソース (音源) 表示に戻ります。

放送局名一覽

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	〃	旭川	85.8MHz
	〃	〃	北見	86.0MHz
北海道(FM)	〃	〃	函館	87.0MHz
	〃	〃	帯広	87.5MHz
	〃	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	〃	釧路	88.5MHz
	北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	札幌
〃		〃	釧路	585kHz
〃		〃	帯広	603kHz
〃		〃	旭川	621kHz
STVラジオ		STVラジオ	函館	639kHz
NHK第1		NHKダイ1	〃	675kHz
NHK第2		NHKダイ2	北見	702kHz
〃		〃	札幌	747kHz
HBCラジオ		HBCラジオ	旭川	864kHz
〃		〃	室蘭	864kHz
北海道(AM)	STVラジオ	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz
	〃	〃	帯広	1,125kHz
	〃	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz
HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
北海道(AM)	HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz	
	〃	〃	稚内	1,368kHz	
	〃	〃	釧路	1,404kHz	
	STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz	
	HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz	
	HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
北海道(AM)	NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz	
	東	FM岩手	FMイワテ	盛岡	76.1MHz
		FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz
		エフエム青森	エフエムアオモリ	青森	80.0MHz
		FM山形	FMヤマガタ	山形	80.4MHz
		ふくしまFM	フクシマFM	郡山	81.8MHz
		NHK-FM	NHK-FM	山形	82.1MHz
北海道(FM)		〃	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	FMアキタ	秋田	82.8MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	盛岡	83.1MHz	
	〃	〃	福島	85.3MHz	
	〃	〃	青森	86.0MHz	
	〃	〃	秋田	86.7MHz	
東	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz	
	〃	〃	山形	540kHz	
	IBC岩手放送	IBCイワテホウソウ	盛岡	684kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	秋田	774kHz	
北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	仙台	891kHz	
	山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz	
	秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz	
東	NHK第2	NHKダイ2	仙台	1,089kHz	
	青森放送	アオモリホウソウ	青森	1,233kHz	
	東北放送	トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
東 北 (AM)	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz
関 東 地 方 (FM)	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz
	インターFM	インターFM	東京	76.1MHz
	FM 栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	東京	77.1MHz
	BAY-FM	BAY-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz
関 東 地 方 (FM)	放送大学	ハウソウダイガク	前橋	78.8MHz
	NACK 5	NACK 5	浦和	79.5MHz
	TOKYO FM	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	〃	千葉	80.7MHz
	J-WAVE	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	〃	〃	横浜	81.9MHz
	〃	〃	東京	82.5MHz
	〃	〃	水戸	83.2MHz
FMヨコハマ	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz	
関 東 地 方 (AM)	NHK-FM	NHK-FM	浦和	85.1MHz
	FM群馬	FMグンマ	前橋	86.3MHz
関 東 地 方 (AM)	NHK第1	NHKダイ1	東京	594kHz
	NHK第2	NHKダイ2	〃	693kHz
	AFN	AFN	〃	810kHz
	TBSラジオ	TBSラジオ	〃	954kHz
	文化放送	ブンカホウソウ	〃	1,134kHz
	茨城放送	イバラキホウソウ	水戸	1,197kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
關 東 地 方 (AM)	ニッポン放送	ニッポンホウソウ	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	ラジオニッポン	横浜	1,422kHz
中 部 地 方 (FM)	栃木放送	トチギホウソウ	宇都宮	1,530kHz
	FM福井	FMフクイ	福井	76.1MHz
	FM新潟	FMニイガタ	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	新潟県民エフエム	FM Port	新潟	79.0MHz
	K-MIX	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	FM ナガノ	美ヶ原	79.7MHz
	FM石川	FM イシカワ	金沢	80.5MHz
	FM AICHI	FMA	名古屋	80.7MHz
中 部 地 方 (FM)	NHK-FM	NHK-FM	富山	81.5MHz
	〃	〃	金沢	82.2MHz
	〃	〃	新潟	82.3MHz
	〃	〃	名古屋	82.5MHz
	FM とやま	FM トヤマ	富山	82.7MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	福井	83.4MHz
	〃	〃	岐阜	83.6MHz
	〃	〃	長野	84.0MHz
	〃	〃	甲府	85.6MHz
〃	〃	静岡	88.8MHz	
中 部 地 方 (AM)	NHK第2	NHKダイ2	静岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富山	648kHz
	〃	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタニホンホウソウ	富山	728kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲府	765kHz
NHK第1	NHKダイ1	長野	819kHz	

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(A)	NHK第1 福井放送	NHKダイ1 フクイハウス	新潟 福井	837kHz 864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz
	∕	∕	甲府	927kHz
	NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ 信越放送	CBCラジオ シンエツハウス	名古屋 長野	1,053kHz 1,098kHz
	北陸放送	ホクリクハウス	金沢	1,107kHz
	新潟放送	ニイガタハウス	新潟	1,116kHz
	NHK第1	NHKダイ1	金沢	1,224kHz
中部地方(M)	東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	NHKダイ2	金沢	1,386kHz
	静岡放送	シズオカハウス	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長野	1,467kHz
	∕	∕	福井	1,521kHz
	∕	∕	新潟	1,593kHz
	∕	∕	甲府	1,602kHz
近畿地方(F)	FM CO・CO・LO E-Radio	CO・CO・LO E-Radio	生駒 滋賀	76.5MHz 77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	姫路	77.6MHz
	FM 三重	FM ミエ	津	78.9MHz
	FM 802	FM 802	大阪	80.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz
近畿地方(F)	∕	∕	京都	82.8MHz
	∕	∕	大津	84.0MHz
	∕	∕	和歌山	84.7MHz
	FM 大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
近畿地方(F)	NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	∕	∕	奈良	87.4MHz
近畿地方(A)	∕	∕	大阪	88.1MHz
	FM 京都	α-STATION	大 京 都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	神 戸	89.9MHz
	AM KOBE NHK第1	AM KOBE NHKダイ1	神 京 都	558kHz 621kHz
近畿地方(A)	∕	∕	大 阪	666kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大 阪	828kHz
	ABCラジオ	ABCラジオ	∕	1,008kHz
	KBS京都	KBSキョウト	京 都	1,143kHz
近畿地方(A)	MBSラジオ ラジオ大阪	MBSラジオ ラジオオオサカ	大 阪	1,179kHz 1,314kHz
	和歌山放送	ワカヤマハウス	∕ 和歌山	1,431kHz
中国地方(F)	岡山エフエム放送	FMオカヤマ	岡 山	76.8MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	山 江	77.4MHz
	広島FM	ヒロシマFM	広 島	78.2MHz
	FM 山口	FMヤマグチ	山 口	79.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	山 江	84.5MHz
中国地方(F)	∕	∕	山 口	85.3MHz
	∕	∕	鳥 取	85.8MHz
	エフエム山陰 NHK-FM	エフエムサンイン NHK-FM	浜 田	86.6MHz
	∕	∕	廣 島	88.3MHz
中国地方(A)	∕	∕	岡 山	88.7MHz
	NHK第1	NHKダイ1	山 口	603kHz
	∕	∕	山 口	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山 口	702kHz
	山口放送	ヤマグチハウス	山 口	765kHz
中国地方(A)	山陰放送	サンインハウス	山 口	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	米 子	1,026kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	広島	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	NHKダイ1	松江	1,296kHz
	中国放送	チュウゴクハウソウ	広島	1,350kHz
	NHK第1	NHKダイ1	鳥取	1,368kHz
中国地方(FM)	NHK第2	NHKダイ2	山口	1,377kHz
	〃	〃	岡山	1,386kHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	岡山	1,494kHz
	AFN	AFN	山口	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松江	1,593kHz
四国地方(FM)	FM香川	FMカガワ	高松	78.6MHz
	FM愛媛	FMエヒメ	高松	79.7MHz
	FM徳島	FMトクシマ	徳島	80.7MHz
	FM高知	FMコウチ	高知	81.6MHz
	NHK-FM	NHK-FM	徳島	83.4MHz
四国地方(AM)	〃	〃	高松	86.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	高知	87.5MHz
	〃	〃	高山	87.7MHz
四国地方(FM)	高知放送	コウチハウソウ	高知	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	徳島	945kHz
	〃	〃	松山	963kHz
	〃	〃	高知	990kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,035kHz
四国地方(AM)	南海放送	ナンカイハウソウ	高松	1,116kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,152kHz
	四国放送	シコクハウソウ	高徳島	1,269kHz
	NHK第1	NHKダイ1	高松	1,368kHz
	西日本放送	ニシニホンハウソウ	〃	1,449kHz
NHK第2	NHKダイ2	松山	1,512kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(FM)	Love FM	Love FM	福岡	76.1MHz
	FM中九州	FMナカキュウシュウ	熊本	77.4MHz
	FM佐賀	FMサガ	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
九州地方(AM)	FM鹿児島	FMカゴシマ	鹿児島	79.8MHz
	FM福岡	FMフクオカ	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM宮崎	FMミヤザキ	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	長崎	84.5MHz
九州地方(FM)	〃	〃	福岡	84.8MHz
	〃	〃	熊本	85.4MHz
	NHK-FM	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz
	〃	〃	北九州	85.7MHz
	〃	〃	佐世保	86.0MHz
九州地方(AM)	〃	〃	宮崎	86.2MHz
	FM大分	FMオオイタ	大分	88.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	88.9MHz
	NHK第1	NHKダイ1	宮崎	540kHz
	〃	〃	鹿児島	576kHz
九州地方(FM)	〃	〃	福岡	612kHz
	NHK第1	NHKダイ1	大分	639kHz
	〃	〃	長崎	684kHz
	〃	〃	熊本	756kHz
	NHK第2	NHKダイ2	熊本	873kHz
九州地方(AM)	宮崎放送	ミヤザキハウソウ	宮崎	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz
	大分放送	オオイタハウソウ	大分	1,098kHz
	南日本放送	ミナミニホンハウソウ	熊本	1,107kHz
熊本放送	クマモトハウソウ	熊本	1,197kHz	

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(A.M)	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長崎	1,377kHz
	∕	∕	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大分	1,467kHz
	∕	∕	宮崎	1,467kHz
AFN	AFN	佐世保	1,575kHz	
沖縄(F.M)	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN-沖縄	FM AFN	∕	89.1MHz
沖縄(A.M)	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	∕	648kHz
	琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	∕	864kHz
	NHK第2	NHKダイ2	∕	1,125kHz

・ 2001年3月現在の主な放送局と周波数です。

保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡しますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、故障かどうか再度お調べください。
2. それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・ JVC MD/CDレシーバー：KW-MD5

・ お名前とおとこ

・ 電話番号

・ 故障の状態(詳しく)：例 CDの演奏音が出ない。

別売りアクセサリ

・ クリーニングキット：CK-25(CD用)

・ MDレンズクリーナー：CL-ML

・ RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)

CN-510E(長さ1m)

CN-520E(長さ2m)





・ 接続コード(ステレオミニプラグ)：CN-203A(長さ1.5m)

・ 変換コード：KS-U57

故障かな？と思う前に

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・ リセットボタンを押して内蔵のマイコンをリセットする。➡104ページ参照 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
MD▲(取出し)ボタンまたはCD▲(取出し)ボタンを押してもMDまたはCDの取り出しができない。 (  または   が点滅表示されます)	・ 盗難防止状態になっている。 ➡105ページ参照	・ MDの場合 SOURCEボタンを押したままMD▲(取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。 ・ CDの場合 SOURCEボタンを押したままCD▲(取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。 「EJECT OK」が表示されMDまたはCDの取り出しができます。
CDやMDの演奏が始まらない。	・ 内部のレンズが結露している。	・ 電源を入れたまま約1～2時間待つ。
FM放送(AM放送)がうまく受信できない。	・ オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブースタ電源端子)に「 <u>オートアンテナ</u> 」コードが接続されていない。	・ 「 <u>オートアンテナ</u> 」コードを正しく接続する。
FM放送(AM放送)の雑音が多い。	・ 放送局の周波数に正しく合っていない。	・ 放送局に正しく合わせる。
	・ 放送局の電波が弱い。	・ 他の放送局を選局する。

症 状	原 因	処 置
「DISC ERROR」が表示される。	・ MDまたはCDの読み取りでエラーが発生したため。	・ MD▲(取出し)ボタンまたはCD▲(取出し) ボタンを押したあとMDまたはCDを入れ直す。
「BLANK DISC」が表示されMDが出てくる。	・ 録音していないMDを入れたため。	・ 録音済みのMDと交換する。
「NO NAME」が表示される。	・ ディスク名や曲名が記録されていないときDISPボタンを押したため。	・ ディスク名や曲名が記録されているディスクを入れる。
「HIGH TEMP」が表示される。	・ 本機の内部の温度が異常に高くなっている。	・ FM放送などに切り換え、温度が下がるまで待つ。
「NO PRE ADJ.」が表示される。	・ 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。	・ お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。
ディスクの出し入れのとき、音が途切れる。	・ ディスクの出し入れのときは、音声にミュートイングをかけ雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。	
ソース(音源)を「CDチェンジャー」にしたとき「RESET 8」が表示される。	・ CDチェンジャーとの通信エラーが発生している。	・ 接続コードを含め、CDチェンジャーとの接続を確認する。
ソース(音源)を「CDチェンジャー」にしたとき「RESET <small>数字</small> ○」が表示される。	・ CDチェンジャー本体にエラーが発生している。	・ CDチェンジャーの取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- エラー訂正方式：クロスインターリーブリードソロモンコード
- チャンネル数：2チャンネル
- 周波数特性：5 Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：99dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- サンプリング周波数：44.1kHz
- 音声圧縮方式：ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：88dB
- S N 比：93dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
 - 受信周波数：76.0MHz~90.0MHz
 - 実用感度：14.3dBf(1.43 $\mu\text{V}/75\Omega$)
- AMチューナー部
 - 受信周波数：522kHz~1,629kHz
 - 実用感度：27dB μ (22.4 μV)

グライコ部

- グライコ中心周波数：LOW …50Hz、80Hz、120Hz
MID …700Hz、1 kHz、2 kHz
HIGH …8 kHz、12kHz
- コントロール範囲： $\pm 12\text{dB}$ (2 dBステップ)
- メーカープリセットモード：ユーロビート、メロウコア、レゲエ、Jポップ、リズム&ブルース、ハードロック、ヒップホップ、ジャズ、カントリー

デジタル シグナル プロセッサ部

- メーカープリセットモード：アリーナ、チャーチ、シアター、ディスコ、ライブ、オペラ、ボーカルキャンセル
- フォーカス：全席モード/運転席モード/助手席モード/前席モード

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W (4 Ω、1 kHz)
リア 50W+50W (4 Ω、1 kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω～8 Ωで使用可能)
- 入力端子：DINジャック(8ピン)×1、CDチェンジャー
(またはカーAV機器) 接続用1.5V/20kΩ
AUX(Φ3.5ステレオミニ)×1
- 出力端子：RCA端子(2系統)、2.0V/1kΩ
スピーカーコード(2系統、ギボシ型)

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 時刻表示：12時間表示法
- 取付寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行148mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行165mm
- 質量：約2.5kg(付属品含まず)

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)…………… 1
- ・ネジ(M5×6mm)…………… 8
- ・皿ネジ(M5×6mm)…………… 8
- ・マウンティングプレート(日産車用)…………… 1

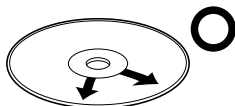
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

お手入れ

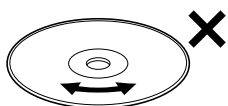
CD(コンパクトディスク)のお手入れ

本機に入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

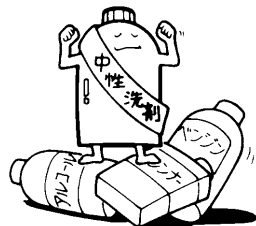
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

本機の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



用語索引

アルファベット・数字

BTL	8
CD-R/CD-RW	9 37
CDテキスト	37
EQパターン	26
SSM(ストロングステーションメモリー)	41
1 曲リピート演奏	34 38
8 センチCD	9

ア行

アンテナリモート	41
イントロスキャン	34 38 45
音場	24

カ行

結露(つゆつき)	8
----------	---

サ行

サーチ演奏	35 38 44
シーク選局	40
重低音	23
スキップ演奏	35 38 44
スキャン選局	40

ステレオ 2 倍長時間再生	33
スペアナ	55
全曲演奏	43

タ行

ダイレクト演奏	34 37
デモ表示	56
電池	16
道路交通情報	42

ハ行

バランス	22
ヒューズ	8
フェーダー	22
プリセット選局	40

マ行

マニュアル選局	39
---------	----

ラ行

ランダム演奏	34 38 45
リスニングポジション	25
リピート演奏	45

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
カーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品
サービス窓口案内」を
ご覧ください。

☎ (027)252-5145
FAX(027)254-8927 (ダイヤルイン)
受付時間 10:00~18:00
(土、日、祝日、当社休日を除く)
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎ ダイヤルイン (027)254-8926